

組織や人事課題の近未来に関するアンケート／集計結果

日本企業全般の組織や人事課題はこれから10年間でどう変化するか。対談をお願いした人事トップに見解を聞きました。

(N=30)

	A	Aに近い	Bに近い	B
1 新卒採用に占める外国人の割合は	大幅に増える	80%	20%	今と変わらない
2 新卒一括採用は	継続される	57%	43%	崩れる
3 部長級の管理職への30代の人材登用は	進む	57%	43%	今と変わらない
4 リーダー育成の方法として大学院との連携・活用は	進む	53%	47%	進まない
5 役員のうち外国人が占める割合は	増加する	86%	14%	今と変わらない
6 年間総労働時間は今より	減少する	86%	14%	増加する
7 在宅勤務（テレワーク）は	増える	83%	17%	今と変わらない
8 有給消化や休日取得の自由度は	高まる	93%	7%	現在と変わらない
9 メンタルの不調を訴える社員の割合は	増える	70%	30%	現在並みである
10 管理職昇進を	望まない社員は増える	66%	34%	望む社員が増える
11 女性管理職の人数は	大幅に増える	97%	3%	今と変わらない
12 従業員に占める非正規社員の割合は	さらに増える	52%	48%	今より減少する
13 定年年齢を延長する企業は	増える	87%	13%	増えない
14 博士号取得者の採用は	広がる	43%	57%	広がらない
15 育児等より一時退職した女性元社員の再雇用は	進む	97%	3%	進まない
16 本社を海外に移す企業は	増える	48%	52%	増えない
17 社内公用語を英語等の外国語に変更する企業は	増える	60%	40%	増えない
18 研究開発機能などの中核施設の海外移転は	進む	71%	29%	進まない
19 製造業の海外への工場移転は	急速に進む	53%	47%	緩やかに進む
20 日本人社員のうち20代で海外勤務を経験する人は	増える	97%	3%	現在と変わらない
21 専門性を重視したプロフェッショナル人事制度の導入は	進む	97%	3%	進まない
22 労働時間によらない報酬体制 （ホワイトカラーエグゼンプション）の導入は	進む	100%	0%	進まない
23 日本国内と海外現地法人との人事制度の統一化は	進む	83%	17%	進まない
24 グローバル人材と国内全域で勤務するナショナル人材と 地域限定のローカル社員のコース分けは	進む	87%	13%	進まない
25 ローパフォーマーの代謝を促すような制度設計は	進む	87%	13%	進まない
26 持ち株会社化などによる企業分割は	進む	72%	28%	現在と変わらない
27 職場内のコミュニケーションは今より	活性化する	87%	13%	不活性になる
28 ミドルマネージャーにおけるマネジメントスキル不足が	深刻化する	57%	43%	改善される
29 ミドルマネージャー一人当たりのメンバー数は今より	増える	48%	52%	減る
30 部長級の管理職におけるプレイングマネージャー比率は	上がる	83%	17%	下がる

小数点以下を四捨五入しているため合計が100%と一致しない場合がございます。